

ロダン館開館  
30  
周年記念  
収藏品展

# 《地獄の門》ができるまで

## 素描、試作から完成へ

2024年  
10/9 [水] - 12/15 [日]

開館時間 / 10:00 ~ 17:30 (展示室への入室は17:00まで)

休館日 / 毎週月曜日 (祝日・振替休日の場合は開館し、翌日休館)

観覧料 / 一般300円 (団体200円)、70歳以上および大学生以下無料

\*企画展観覧券で、収藏品展、ロダン館も併せてご覧いただけます。

\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

\*ロダンウィーク2024期間中(11月1日~11月4日)は、収藏品展・ロダン館を無料でご覧いただけます。詳細は当館ホームページまたは個別ちらしをご覧ください。

A. Rodin

静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

つながる、次へ



オーギュスト・ロダン  
《考える人》(小型) 1880年(铸造1920年以前)当館蔵

## 《地獄の門》ができるまで:素描、試作から完成へ

ロダン館開館30周年を記念し、オーギュスト・ロダン(1840-1917年)の代表作《地獄の門》を様々な関連作や資料によってご紹介します。フランス政府からこの作品制作を発注されたのは、作者が40歳のときです。以来、30年以上をかけて制作された《地獄の門》は、スケールの大きさ、長い構想期間、数多くの逸話を残す点で、彫刻家ロダンの人生と制作活動を象徴する作品と言えます。またここから、素描、複数のマケット、門から独立した数多くの彫刻など、多岐にわたる関連作が生まれました。巨大な彫刻作品ができるまでどのように変化し、発展したのか。作者のアイデアや制作のプロセスに迫ります。

\*会期中、展示替えがあります。\*《地獄の門》はロダン館でご鑑賞ください。



オーギュスト・ロダン  
《門扉下絵》個人蔵



オーギュスト・ロダン  
《接吻》1882-87年頃(原型) 東京富士美術館  
©東京富士美術館イメージアーカイブ/DNPpartcom

ロダン館開館  
30  
周年記念  
収蔵品展



オーギュスト・ロダン  
《ネレイスたち》1887年以前 国立西洋美術館 松方コレクション  
Photo: NMWA/DNPpartcom 撮影: ©上野則宏

## 会期中イベント

### ロダン館で、レッツ・ヨガ!

ロダンの彫刻には、ヨガのアーサナ(ポーズ)を連想させるものがあります。《地獄の門》をバックに、ヨガしませんか? 経験がなくても大丈夫! ロダンの数々の彫刻と対話できる空間で、楽しく体を動かしましょう。

11月2日(土) 11:00 ~ 1時間程度

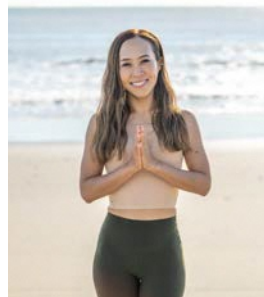
場所: ロダン館

講師: アラサ(焼津市ダンス・ヨガ教室STUDIO BREATHE主宰)

対象: 小学校5年生以上

定員: 25名以内

お申込: 要予約、先着順 \*詳細、お申込は、当館ホームページをご覧ください。



### 学芸員によるフロアレクチャー

10月14日(月・祝) 14:00 ~

10月27日(日) 11:00 ~

11月23日(土・祝) 14:00 ~

いずれも40 ~ 50分程度、  
本展(第7展示室)とロダン館《地獄の門》  
をご案内します。

\*申込不要、収蔵品展または企画展観覧券が  
必要です。

\*第7展示室にお集まりください。

〒422-8002 静岡県駿河区谷田53-2

<お問合せ>

企画総務課... Tel.054-263-5755

Fax.054-263-5767

学芸課... Tel.054-263-5857

<ウェブサイト>

<https://spmoea.shizuoka.shizuoka.jp>

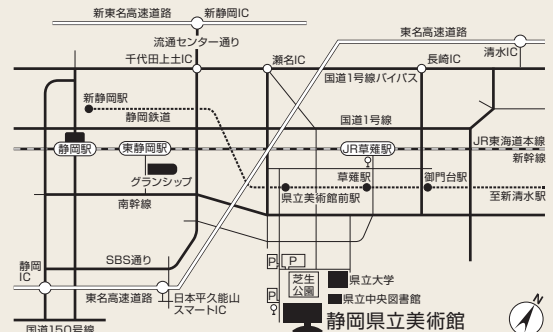
### 同時開催企画展

「無言館と、かつてありし信濃デッサン館  
—窪島誠一郎の眼」

10月12日(土) ~ 12月15日(日)

#### 交通案内

- JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
- JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分または北口から静鉄バスで約30分
- JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分または静鉄バスで約20分
- 静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分または静鉄バスで約3分
- 東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で約15分  
または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分



静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art